

FU プラグイン⁺ Plus

Googleスプレッドシート出力プラグイン ご利用手引書

第9版



Powered by kintone



キャップクラウド株式会社

クラウドインテグレーション事業部

ご利用手引書リリース履歴

リリース日	版情報	製品Ver.情報
2022/03/08	第1版	v2.0.0
2022/05/31	第2版	v2.0.3
2022/08/30	第3版	v2.0.4
2022/10/31	第4版	v2.1.0
2022/12/06	第5版	v2.1.0
2023/05/02	第6版	v2.1.0
2023/07/03	第7版	v2.1.0
2024/02/02	第8版	v2.1.0
2024/04/17	第9版	v3.0.0

1. プラグイン概要	… P4
2. Google 連携設定	… P5~12
3. プラグイン設定方法	… P13~21
4. プラグイン設定運用環境反映	… P22~23
5. プラグイン利用手順	… P24~27
6. 設定内容のインポートとエクスポート	… P28
7. 使用上のご注意	… P29~31

kintoneのレコードのデータをGoogleスプレッドシートに出力できます。キーとする項目を設定することで、スプレッドシートに出力済のデータをkintoneのアプリ上で編集した場合、スプレッドシート上のデータもあわせて更新します。

<操作イメージ>

プラグイン適用アプリで一括登録を実行

出力内容

シート名	同期件数
all	108件

出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートのデータが上書きされます。
※未設定と空(カラ)設定の列にはデータ上書きされません。

作成 キャンセル

アプリ内のすべてのレコードがスプレッドシートに出力される

得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所1
C0000000045	スズキ商事株式会社	C	2018-06-26	メーカー	
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市
C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市
C0000000042	木曾川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー	
C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田
C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー	
C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー	
C0000000038	株式会社日高電機	A	2018-06-19	ユーザー	島根県出雲市
C0000000037	株式会社傘雲	B	2018-06-18	ユーザー	神奈川県横浜
C0000000036	株式会社傘雲	S	2018-06-17	ユーザー	東京都渋谷区
C0000000035	有限会社オノデラリア	B	2018-06-16	ユーザー	神奈川県横浜
C0000000034	株式会社エムシーシー	B	2018-06-15	ユーザー	島根県出雲市
C0000000033	上原商事	A	2018-06-14	ユーザー	東京都千代田
C0000000032	株式会社傘雲	A	2018-06-13	ユーザー	山梨県富士吉
C0000000031	傘雲商事株式会社	A	2018-06-12	ユーザー	東京都千代田

シートに出力済みのレコードをアプリ上で編集

キャンセル 保存

得意先コード: C0000000045
得意先名: スズキ商事株式会社
顧客ランク: C
取引種別: メーカー

得意先コード: C0000000045
得意先名: スズキ商事株式会社
顧客ランク: A
取引種別: メーカー

編集内容がスプレッドシート内のデータに同期される

A	B	C	
得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引
C0000000045	スズキ商事株式会社	C	
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	

A	B	C	D
得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始
C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-
C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-

・Google Cloud Platformにログイン

本プラグインの設定前に、Google側で連携設定を行う必要があります。
Googleアカウントをご用意の上、下記手順で設定してください。

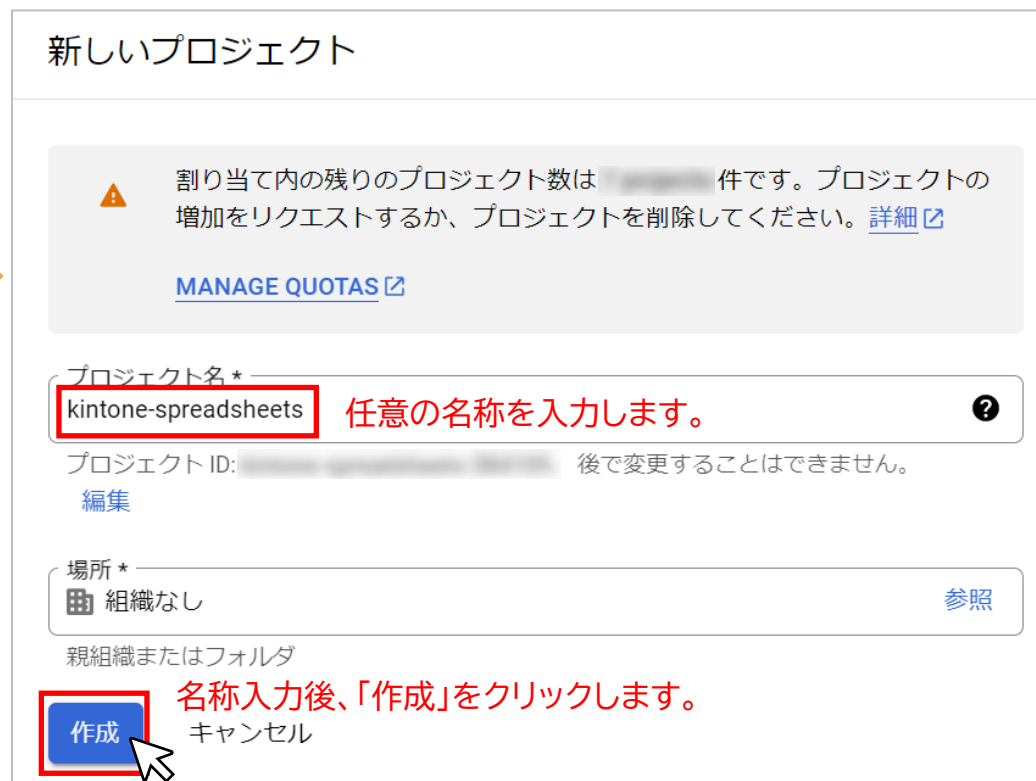
<STEP1>[Google Cloud Platform](#)を開き、Googleアカウントでログインします。

▼ログイン後 画面イメージ

The screenshot displays the Google Cloud Platform console interface. At the top, the navigation bar includes the Google Cloud logo, the project name 'My First Project', a search bar, and utility icons. The main content area is titled 'API とサービス' (API and Services) and features a left-hand navigation menu with options like '有効な API とサービス' (Active APIs and Services), 'ライブラリ' (Library), '認証情報' (Credentials), 'OAuth 同意画面' (OAuth Consent Screen), and 'ページの使用に関する契約' (Terms of Service for Pages). The main panel shows three monitoring cards: 'トラフィック' (Traffic), 'エラー' (Errors), and '中央値のレイテンシ' (Median Latency). Each card displays a warning icon and the message '選択した時間帯で使用できるデータがありません。' (No data available for the selected time range). The time range is set to '1日' (1 day), and the x-axis of the charts shows the date '4月18日' (April 18th) with time markers at '6:00' and '12:00'.

- ・新しいプロジェクトの作成
- ・プロジェクト名の入力

〈STEP2〉新しいプロジェクトを作成します。

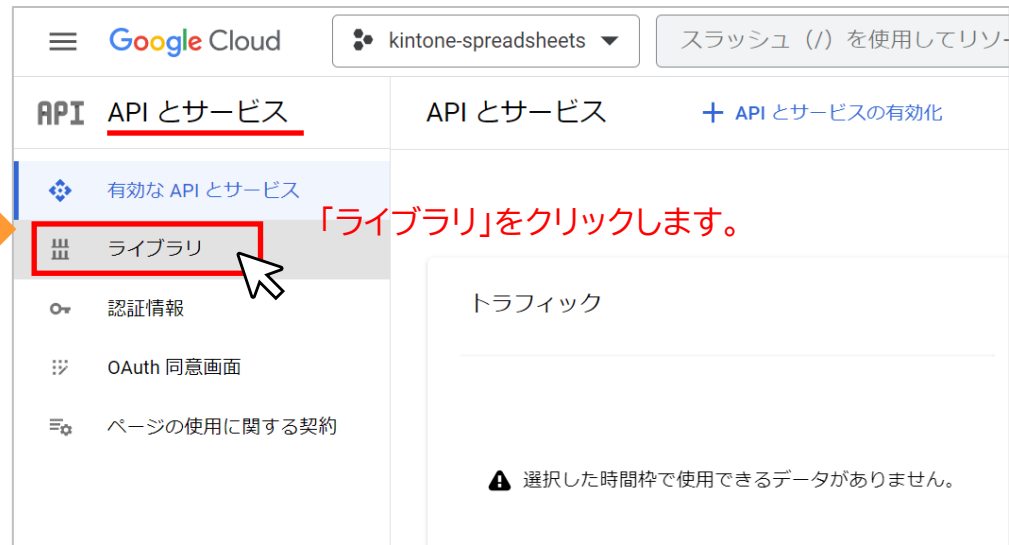


・Google Sheets APIの有効化

〈STEP3〉P6で作成したプロジェクトを開きます。



〈STEP4〉「APIとサービス」タブ内の「ライブラリ」を開きます。

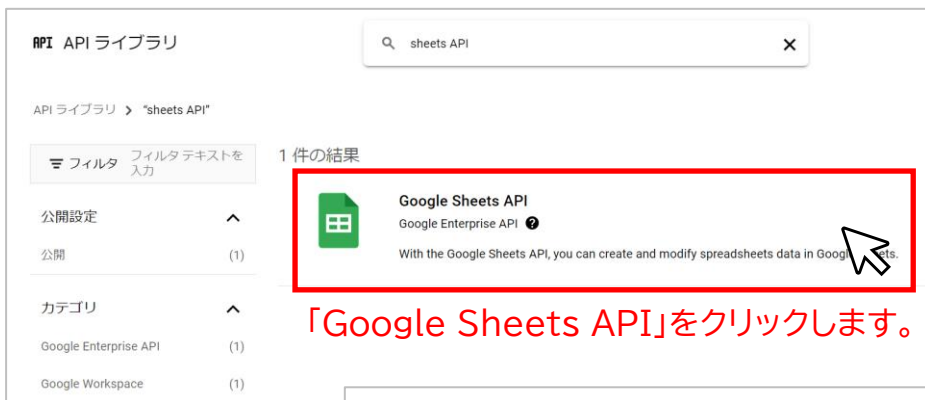


・Google Sheets APIの有効化(続き)

〈STEP5〉検索ボックスに「sheets API」と入力して検索します。



〈STEP6〉「Google Sheets API」を有効にします。

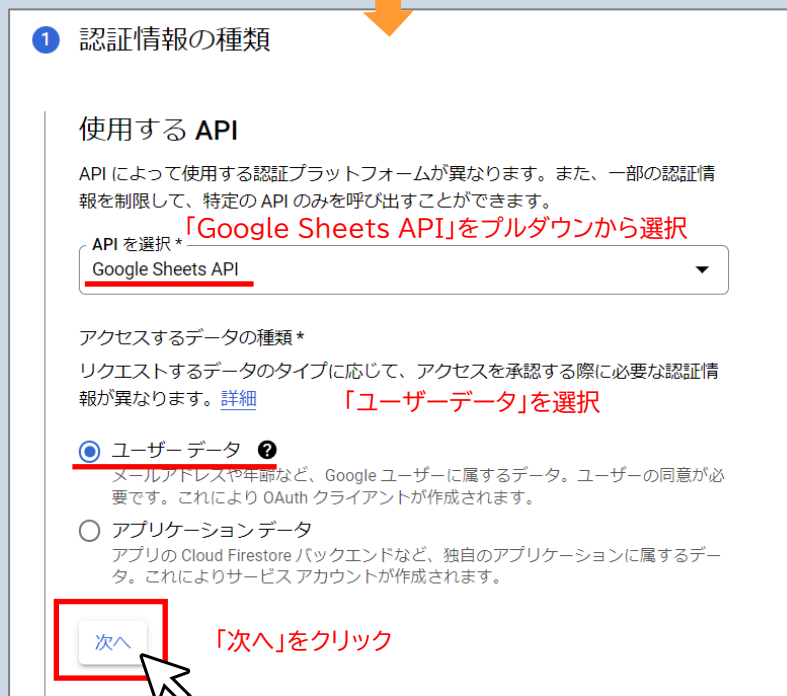


「Google Sheets API」をクリックします。



「有効にする」をクリックします。

【補足】Google初回設定時など、以下の画面が表示された場合



「次へ」をクリック

➡ P10 〈STEP9〉に続きます

・OAuth同意画面の設定

〈STEP7〉「APIとサービス」タブ内の「OAuth同意画面」を開きます。

Google Cloud kintone-spreadsheets スラッシュ (/) を使用してリソース、ド

API API とサービス API / サービスの詳細 API を無効にする

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する説明

To use this API, you may need credentials.

Google Sheets API
Reads and writes Google Sheets.

所有者: Google Enterprise API

サービス名	タイプ	ステータス
sheets.googleapis.com	公開 API	有効

〈STEP8〉User Typeを選択します。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲットユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

User Type

内部

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 [ユーザーの詳細](#)

外部

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、アプリの確認が必要となる場合があります。 [ユーザーの詳細](#)

作成 「作成」をクリックします。

【参考】User Typeについて

User Typeは、利用状況に応じて選択してください。

（社内利用の場合は「内部」、社外との共有に利用する場合は「外部」など）

基本的には「内部」を推奨いたしますが、

アプリ利用者に組織外のユーザーがいる場合は「外部」をご設定ください。

※詳細は[こちら](#)（Google Cloud Platform Consoleヘルプ）

・OAuth同意画面の設定(続き)

<STEP9>アプリ登録の編集画面で、「アプリ情報」を設定します。
※「アプリのロゴ」「アプリのドメイン」の設定は任意です。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スcope — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、開発者のユーザー情報と開発者への問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

アプリ名*
スプレッドシート連携 **任意のアプリ名を入力します。**
同意を求めるアプリの名前

ユーザーサポートメール*
focusu.trial.sv@gmail.com **メールアドレスを選択します。▼**
ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

【参考】「アプリのロゴ」、「アプリのドメイン」設定欄

アプリのロゴ

これがお客様のロゴです。このロゴは、ユーザーがアプリを認識できるように、OAuth 同意画面に表示されます。

ロゴをアップロードした後に、アプリを送信して確認し、アプリが内部でのみ使用するように構成されていますが「テスト中」の場合は、送信は不要です。 [詳細](#)

アップロードするロゴファイル

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に1MBまでの画像形式は、JPG、PNG、BMPです。最大120 x 120ピクセルの正方形にすることを推奨します。

アプリのドメイン

開発者とユーザーを保護するために、Googleでは、OAuthを使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

アプリケーションのホームページ
ホームページへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーションプライバシーポリシー]リンク
一般公開のプライバシーポリシーへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション利用規約]リンク
一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

※設定は任意です。



<STEP10>「承認済みドメイン」、「開発者の連絡先情報」を設定します。

承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

+ ドメインの追加 **「ドメインの追加」をクリックします。**



承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

「cybozu.com」と入力します。

承認済みドメイン 1*
cybozu.com

+ ドメインの追加

開発者の連絡先情報

メールアドレス* **メールアドレスを入力します。**

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ キャンセル **「保存して次へ」をクリックします。**

・OAuth クライアントID の発行

〈STEP11〉「APIとサービス」タブ内の「認証情報」を開きます。

Google Cloud kintone-spreadsheets スラッシュ (/) を使用してリソース、

API API とサービス アプリ登録の編集

有効な API とサービス

ライブラリ 「認証情報」をクリックします。

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスになります。 [詳細](#)



〈STEP12〉認証情報画面でOAuth クライアントIDを作成します。

認証情報

+ 認証情報を作成 削除 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセス

API キー

名前

表示する API キー

OAuth 2.0 クラ

名前

作成日 ↓ 種類

API キー

シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します

OAuth クライアント ID

ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします

サービス アカウント

ロボット アカウント

ウィザードで選択

使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

「認証情報の作成」→「OAuth クライアント ID」の順にクリックします。



〈STEP13〉クライアントIDを発行します。

OAuth クライアント ID の作成

アプリケーションの種類* 「ウェブ アプリケーション」を選択します。選択後に以下設定欄が表示されます。

ウェブ アプリケーション

名前* 任意の名称を入力します。

kintone

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

1 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元

ブラウザからのリクエストに使用します

ご自身のkintone環境のURLを入力します。

URI 1* https://XXXXX.cybozu.com

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

承認済みのリダイレクトURLの設定は任意です。

+ URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成 キャンセル

「作成」をクリックします。クリック後、クライアントIDが発行されます。

発行後は、このようなポップアップが表示されます。

OAuth クライアントを作成しました

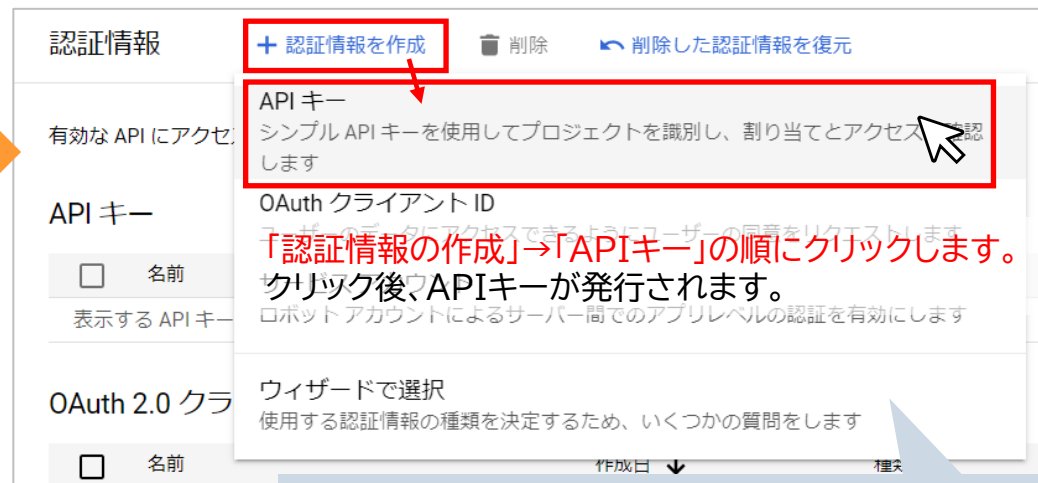
クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます。

・APIキーの発行

〈STEP14〉「APIとサービス」タブ内の「認証情報」を開きます。



〈STEP15〉認証情報画面でAPIキーを作成します。



作成後は、このようなポップアップが表示されます。

API キーを作成しました

アプリケーション内で使用するには、このキーを `key=API_KEY` が...

【参考】発行後の「OAuth2.0クライアントID」「APIキー」は、認証情報から確認できます。



・アプリにプラグインを追加

プラグインインストール後の設定方法を記載しております。
 プラグインのインストール方法がご不明な場合は、下記をご参照ください。
https://jp.cybozu.help/k/ja/id/0408.html#add_plugin_plugin_10

<STEP1>アプリの一覧画面からプラグイン設定画面を開きます。



<STEP2>「追加する」をクリックします。



<STEP3>「Googleスプレッドシート出力プラグイン」にチェックを入れ、画面右下の「追加」をクリックします。



<STEP4>設定「⚙️」マークをクリックします。



<STEP5>プラグインの設定画面が表示されます。



- ・ライセンスキーの設定
- ・GoogleAPIkey、クライアントIDの設定

〈STEP6〉 Google 連携設定7、8(P11~12)で発行したAPIキーとOAuth2.0 クライアントIDを入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを入力します。
※ライセンスキーは別途ご案内します

基本設定項目

GoogleAPIKey* 「APIキー」を入力します。

クライアントID* 「OAuth2.0 クライアントID」を入力します。

スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) * ---

API API とサービス

- 有効な API とサービス
- ライブラリ
- 認証情報
- OAuth 同意画面
- ページの使用に関する契約

認証情報 + 認証情報を作成 削除 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	制限	操作
<input type="checkbox"/>	API キー 1	2023/04/19	なし	鍵を表示します

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
<input type="checkbox"/>	ウェブクライアント1	2023/04/19	ウェブ アプリケーション	[Redacted]	[Icons]

・スプレッドシート番号の設定

〈STEP7〉kintoneのデータの出力先とするスプレッドシートを設定します。

基本設定項目

GoogleAPIKey*

クライアントID*

スプレッドシート番号*

1kbLAKODVWNweTT3b-tcfgO4bRv2Cv3CM

キー項目選択 (kintone) *

キー列選択 (spreadSheet) *

グルーピング項目選択

出力先とするスプレッドシートのURLの「d/」と「/edit」の間の値を入力します。

The screenshot shows a web browser displaying a Google Sheets document. The address bar contains the URL: docs.google.com/spreadsheets/d/1kbLAKODVWNweTT3b-tcfgO4bRv2Cv3CMsMcXGUmR04Q/edit#gid=2084975450. The portion 'd/1kbLAKODVWNweTT3b-tcfgO4bRv2Cv3CMs' is underlined in red, with an arrow pointing from the red-bordered input field in the settings above.

The spreadsheet interface shows the following details:

- Page title: プロジェクト管理 (kintone)
- Navigation: ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ
- Toolbar: 検索 メニュー (undo, redo, copy, paste, print, zoom) 100% (currency, decimal, thousands separator) デフォ... (font size, bold, italic, underline, text color, background color, fill color, text border, text wrap, text alignment, text rotation, text background color, text background border)
- Grid: P26 (column selection) | fx (formula bar)
- Grid columns: A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K
- Grid rows: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8

・キー項目の設定

〈STEP8〉キー項目選択(kintone) を設定します。

kintoneのアプリ上でレコード編集や追加を行った際、ここで指定したフィールドの値をキーに、既にスプレッドシート上にデータが存在する場合は更新処理、データが存在しない場合は新規追加処理を行います。

スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) *

キー列選択 (spreadSheet) *
※キー列は後から設定します。

グループング項目選択

Google認証ボタン表示

得意先コード

リンク

レコード番号

キーに利用するフィールドをプルダウンから選択します。
フィールド名を直接入力して検索することもできます。

【ご注意】キー項目について

レコード番号、もしくは重複不可の設定をしているフィールドのみ対応しています。
フォーム内にレコード番号を配置していない場合や、“値の重複を禁止する”設定をしていない場合、プルダウンにフィールドが表示されませんので、ご注意ください。



・グルーピング項目の設定(任意)

〈STEP9〉グルーピング項目選択を設定します。

グルーピング項目を設定することで、指定したフィールドの値ごとに、スプレッドシートの複数シートに分けて出力します。

キー列選択 (spreadSheet) *

※キー列は後から設定します。

グルーピング項目選択

グルーピングの条件として利用するフィールドをプルダウンから選択します。
フィールド名を直接入力して検索することもできます。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

得意先コード

得意先名

支社

カナ索引

顧客ランク

取引種別

一括登録ボタン表示
ユーザー選択

【参考】グルーピング項目利用時の出力イメージ (詳細はP26参照)

	A	B	C	D	E	F
1	得意先コード	得意先名	支社	顧客ランク	取引種別	郵便番号
2	C0000000044	株式会社DT情報サービス	九州支店	S	ユーザー	812-0012
3	C0000000043	株式会社DT情報サービス	札幌	B	ユーザー	060-0807
4	C0000000042	木曾川商事株式会社	大阪支店	B	ユーザー	753-8501
5	C0000000041	株式会社DT情報サービス	東京本社	A	ユーザー	920-8580
6	C0000000040	株式会社日高電機	札幌支社	A	ユーザー	862-8570
7	C0000000039	株式会社DT情報サービス	大阪支社	NG	ユーザー	981-0916
8	C0000000038	株式会社日高電機	本社	A	ユーザー	111-XXXX
9	C0000000037	株式会社傘雲	本社	B	ユーザー	227-XXXX
10	C0000000036	株式会社傘雲	渋谷支社	S	ユーザー	562-XXXX
11	C0000000035	有限会社オノデラリペア	横浜	S	ユーザー	079-XXXX
12	C0000000034	株式会社エムシーシー	山陰支社	S	ユーザー	812-0012
13	C0000000033	上原商事	東京本社	A	ユーザー	060-0807

+ ≡ ユーザー ↓ 代理店 ↓ 特約店 ↓ メーカー ↓

【ご注意】グルーピング項目について

一部ご利用いただけないフィールドタイプがございます。
詳細は「使用上の注意」をご参照ください。(P29参照)

・各ボタン表示ユーザーの設定

〈STEP10〉Google認証ボタン・一括登録ボタンを表示するユーザーを設定します。
ここで選択したユーザーにのみ各ボタンを表示することで、実行を制限できます。

枠内にユーザーの表示名もしくはログイン名を入力し、
目当てのユーザーをクリックして選択します。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

一括登録ボタン表示
ユーザー選択

「選択」ボタンをクリックして、組織やグループ情報から
ユーザーを選択することもできます。

選択したユーザーが表示されます。
「×」ボタンでユーザーを削除できます。

【参考】レコード一覧画面

▼両方のボタンを表示

数値1	テスト数値2	得意先コード	得意先名	グループ選択	取引種別	重複不可日付	重
	72	A004	阿部商事株式会社		特約店	2024-02-11	20
	37	N001	長島商事株式会社		ユーザー	2024-02-12	20

▼Google認証ボタンのみ表示

別	得意先コード	得意先名	支社	住所 1	会社メ
-	A001	愛知マート株式会社	愛知マート 株式会社	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	aichi@e
	A003	厚木産業 株式会社	厚木産業 株式会社	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	samplec

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉スプレッドシートに出力するkintoneフィールドと、出力先のスプレッドシート列を設定します。左側の「出力候補のkintoneフィールド」欄から、スプレッドシートに出力したいフィールドを右側の「出力するGoogleスプレッドシート列」欄の枠内にドラッグ&ドロップします。

スプレッドシートとフィールド項目を設定

各ボタンについては次ページ(P20参照)

スプレッドシートに一括セット

スプレッドシート列クリア

5

追加

5

削除

出力候補のkintoneフィールド

出力するGoogleスプレッドシート列

フィールドの検索

フィールドの検索

フィールド名を直接入力して検索できます。

得意先コード (customerCode)

A 得意先コード (customerCode) ⊗

+ -

得意先名 (customerName)

B 得意先名 (customerName) ⊗

+ -

支社 (branchOffice)

支社 (branchOffice)

C

+ -

カナ索引 (kanaIndex)

D

+ -

顧客ランク (rank)

E

+ -

取引種別 (tradingType)

F

+ -

敬称 (keisyo)

チェックボックス (チェックボックス)

複数選択 (複数選択)

リード会社コード (leadCompanyCode)

会計共通コード (parentCompanyCode)

+ -

「+」「-」ボタンで行を増減します。

「×」ボタンでフィールドを削除できます。

【参考】
列のアルファベット部分をダブルクリックすると、その列が画面中央に位置して表示されます。フィールド検索から列移動に便利です。

【参考】F11キー押下で全画面表示

【ご注意】

- ・キー項目がスプレッドシートのいずれかの列に出力されていないと、アプリ上での編集内容がスプレッドシートに正しく反映されません。P16で選択したキー項目を必ず設定してください。
- ・出力先として選択可能なスプレッドシートの列はAからZZZ列までとなります。

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉続き スプレッドシートに出力するkintoneフィールドと、出力先のスプレッドシート列を設定します。

出力候補のkintoneフィールド欄の全てのフィールドを
出力するGoogleスプレッドシート列欄に一括で登録します。

出力するGoogleスプレッドシート列欄の
枠内に登録済のフィールドをすべて削除します。

スプレッドシートに一括セット

スプレッドシート列クリア

5 追加

5 削除

出力候補のkintoneフィールド

フィールドの検索

得意先コード (customerCode)

得意先名 (customerName)

支社 (branchOffice)

カナ索引 (kanaIndex)

顧客ランク (rank)

取引種別 (tradingType)

敬称 (keisyo)

チェックボックス (チェックボックス)

複数選択 (複数選択)

リード会社コード (leadCompanyCode)

会計共通コード (parentCompanyCode)

自社部門名 (bumonName)

社員コード (employeeCode)

姓(J) (familyName)

名(J) (firstName)

出力するGoogleスプレッドシート列

フィールドの検索

A 得意先コード (customerCode)

B 得意先名 (customerName)

C 支社 (branchOffice)

D 顧客ランク (rank)

E 取引種別 (tradingType)

F 取引開始日 (日付)

G 担当者名 (repName)

H

I 担当TEL (repTelNo)

J 担当メールアドレス (repMail)

「出力するGoogleスプレッドシート列」欄の枠を追加・削除できます。
追加:プルダウンで選択した数の空の枠を最下部に追加
削除:プルダウンで選択した数の枠を最下部から順に削除

【ご注意】枠の削除について
削除の場合、フィールドを設定済みの枠も削除されます。
フィールドを設定済みの場合は、操作にご注意ください。

【参考】
アプリのデータを出力しない列(空設定の列)を設けることも可能です。
スプレッドシート上でデータを追記したい場合などにご活用ください。

・キー列の設定

〈STEP12〉キー列選択(spreadSheet) を設定します。
P19で設定した、キー項目が出力されるスプレッドシートの列を設定します。

キー項目選択 (kintone)

キー列選択 (spreadSheet)

A

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

管理者 ×

佐藤 ×

一括登録ボタン表示
ユーザー選択

管理者 ×

佐藤 ×

「V」ボタンをクリックし、キー列を選択します。
P19で設定した出力先の列からキー項目を設置した列のみ
が絞り込まれて表示されます。

【参考】キー項目の出力先の列が複数存在する場合
プルダウンに複数の選択肢が表示されますが、
選択した列の違いによる影響はありません。
いずれか1つをご選択ください。

A

J

基本設定項目の注意点

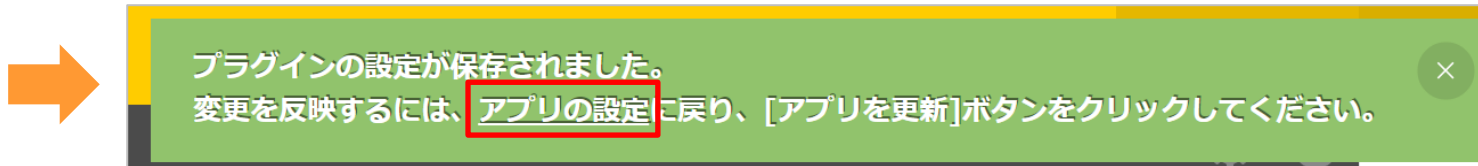
・キー項目選択 (kintone) はレコード番号、もしくは重複不可の設定をしているフィールドになります。

プラグイン設定は設定画面で設定内容を保存した後、アプリ設定画面で「アプリを更新」を押す事で運用環境に設定内容が反映します。

<STEP1>プラグイン設定画面で「保存」をクリックします。



<STEP2>表示されたダイアログの「アプリの設定」をクリックします。



<STEP3>「アプリを更新」をクリックします。



<STEP4>一覧画面上部に、「Google認証」「一括登録」の2つのボタンが表示されていることを確認します。

1 - 100 (107件中)

	得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当者名	敬称	
	C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-06-26	メーカー		鈴木 太郎	様	
	C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市博多区博多駅中央街		様	
	C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市北区北七条西	小野間 晴彦	様	
	C0000000042	木曾川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー		鈴木 隆	様	
	C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田区丸の内	佐藤 栄作	様	
	C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー		高木 英明	様	
	C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー			様	
	C0000000038	株式会社日高電機	A	2018-06-19	ユーザー	島根県出雲市上島町	林 一郎	様	

・Google認証の実行

<STEP1>Googleアカウントを使ってGoogle認証をします。

「Google認証」をクリックします。

	得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1
	C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-06-26	メーカー	
	C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市博多区博多駅中央街
	C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市北区北七条西
	C0000000042	木曾川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー	
	C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田区丸の内
	C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー	
	C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー	

▼Google認証画面イメージ



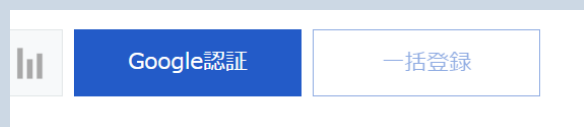
【ご注意】Google認証について

下記の場合、Google認証が無効化します。

- ・最後の処理から1時間経過
- ・ブラウザ(タブ)を閉じる

認証が無効化すると「Google認証」ボタンが青色に表示されますので、再度「Google認証」をクリックし認証を行ってください。

▼「Google認証」が無効化した状態



▼「Google認証」が有効な状態



・アプリの全レコードのデータをスプレッドシートに一括登録

<STEP2>現在のアプリ内のレコードの情報をスプレッドシートへ一括登録します。

グルーピング項目を利用していない場合：アプリ内の全レコードを1シートに出力します。

「一括登録」をクリックします。

顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当
S	2018-05-09	ユーザー	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	沢井
S	2018-05-11	代理店	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	遠藤
B	2018-05-12	特約店	東京都港区東麻布5丁目12-34	阿部
D	2018-05-13	ユーザー	東京都文京区後楽園X-X-X	長田

出力内容を確認し、「作成」をクリックします。

シート名	同期件数
all	108件

出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートが上書きされます。
※未設定と空(カラ)設定の列にはデータ上書きされません。

一括登録が完了しました。

	C	D	E
	ステータス	クライアント名	プロジェクト開始日
企画制作	開始前	株式会社 山口商事	2024-03-21
作成	開始前	もみじデパート	2024-03-21
の制作	進行中	有限会社ミナミ	2024-03-21
作	進行中	株式会社 ミナミ	2024-03-21
作	進行中	青井商事株式会社	2024-03-21
作	進行中	厚木産業 株式会社	2024-03-21
8	P-00195	ブランドムービーの企画制作	進行中 青井商事株式会社 2024-03-21
9	P-00194	ブランドブックの企画制作	進行中 厚木産業 株式会社 2024-03-21
10	P-00193	展示会ブースデザイン	終了 青井商事株式会社 2024-03-21
11	P-00192	社史・記念誌の企画制作	終了 厚木産業 株式会社 2024-03-21
12	P-00191	店舗デザイン	終了 青井商事株式会社 2024-03-21
13	P-00190	営業ツールの企画制作	終了 今井百貨店 2024-03-21
14	P-00189	販促パンフレット・カタログ等の企画制作	開始前 株式会社 山口商事 2024-03-21
15	P-00188	販促Webサイトの構築	開始前 株式会社 ミナミ 2024-03-21
16	P-00187	2022年春-広報誌	開始前 株式会社 千代サービス 2024-03-21
17	P-00186	2021年秋-広報誌	開始前 株式会社 千代サービス 2024-03-21

【ご注意】

一括登録を行うと、スプレッドシートの内容が上書きされます。既にスプレッドシートにデータが存在する場合は、操作にご注意ください。※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定無のとき>

出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

スプレッドシートに、レコードの内容が一括登録されます。

・アプリの全レコードのデータをスプレッドシートに一括登録

<STEP2>続き 現在のアプリ内のレコードの情報をスプレッドシートへ一括登録します。

グルーピング項目を利用している場合 : アプリ内の全レコードをグルーピング項目の値ごとに複数シートに分けて出力します。

「一括登録」をクリックします。

顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当
S	2018-05-09	ユーザー	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	沢井
S	2018-05-11	代理店	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	遠藤
B	2018-05-12	特約店	東京都港区東麻布5丁目12-34	阿部
D	2018-05-13	ユーザー	東京都文京区後楽園X-X-X	長田

シート名	同期件数
ユーザー	99件
代理店	2件
特約店	2件
メーカー	5件

出力先スプレッドシート内に、グルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。
同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシートのデータが上書きされます。

出力内容を確認し、「作成」をクリックします。

【ご注意】

・一括登録を行うと、スプレッドシートの内容が上書きされます。
既にスプレッドシートにデータが存在する場合は、操作にご注意ください。
※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定有のとき>

出力先スプレッドシート内にグルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。
同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシートのデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

・プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しないためご注意ください。

一括登録が完了しました。

	C	D	E	F	
	支社	顧客ランク	取引種別	郵便番号	
	サービス 九州支店	S	ユーザー	812-0012	
	サービス 札幌	B	ユーザー	060-0807	
	社 大阪支店	B	ユーザー	753-8501	
	サービス 東京本社	A	ユーザー	920-8580	
6	C0000000040 株式会社日高電機	札幌支社	A	ユーザー	862-8570
7	C0000000039 株式会社DT情報サービス	大阪支社	NG	ユーザー	981-0916
8	C0000000038 株式会社日高電機	本社	A	ユーザー	111-XXXX
9	C0000000037 株式会社傘雲	本社	B	ユーザー	227-XXXX
10	C0000000036 株式会社傘雲	渋谷支社	S	ユーザー	562-XXXX
11	C0000000035 有限会社オノデラリペア	横浜	S	ユーザー	079-XXXX
12	C0000000034 株式会社エムシーシー	山陰支社	S	ユーザー	812-0012
13	C0000000033 上原商事	東京本社	A	ユーザー	060-0807

フィルター: ユーザー | 代理店 | 特約店 | メーカー

スプレッドシートに、レコードの内容が一括登録されます。
シート「ユーザー」には取引種別フィールドの値が「ユーザー」のレコードのみ出力されます。

・レコードの編集内容をスプレッドシートに同期

<STEP3>kintoneのアプリ上での編集内容をスプレッドシートへ同期します。
Google認証が有効な状態でレコード追加・編集・削除した内容はスプレッドシートに反映されます。

スプレッドシートに出力済のレコードを編集する

会社名
カサクモマーケティングテクノロジー

保存

シートに出力済のレコードをアプリ上で編集します。

会社名 部署名 先方担当者
傘雲マーケティングテクノロジー 営業 田中 浩二

TEL FAX メールアドレス

	A	B	
	レコード番号	会社名	部署
	20	カサクモマーケティングテクノロジー	営業
	19	山田商事株式会社	営業
1	レコード番号	会社名	部署名
2	20	傘雲マーケティングテクノロジー	営業
3	19	山田商事株式会社	営業部
4	16	石井精密機械工業	総務部
5	15	マネープラットフォーム株式会社	営業部
6	11	吉高ビューティ	営業企画部
7			

スプレッドシート上のデータもあわせて更新されます。

アプリに新しいレコードを追加する

キャンセル 保存

アプリに新規レコードを追加します。

会社名 部署名 先方担当者
キャップクラウド建設 管理部 東京 太郎

TEL FAX メールアドレス
03-XXXX-XXXX 03-XXXX-XXXX XXX@sanple.com

	A	B	C	D
1	レコード番号	会社名	部署名	先方担当者
2	21	キャップクラウド建設	総務部	東京 太郎
3	20	傘雲マーケティングテクノロジー	営業	田中 浩二
4	19	山田商事株式会社	営業部	山田 貴文
5	16	石井精密機械工業	総務部	石井 太郎
6	15	マネープラットフォーム株式会社	営業部	柴田 大将
7	11	吉高ビューティ	営業企画部	吉高 美智子
8				

スプレッドシートの2行目(ヘッダー下)にデータが追加されます。

【ご注意】

- ・Google認証されていない状態でのkintoneのアプリ上での編集内容は、スプレッドシートに反映されません。
Google認証後、「一括登録」を行い、アプリ内の最新のデータをスプレッドシートに登録することを推奨いたします。
- ・kintoneのファイル読み込み機能を利用したレコード登録・更新はプラグイン動作対象外となります。

設定内容のインポートとエクスポート

プラグイン設定内容をJSON形式ファイルでエクスポートできます。また、JSON形式ファイルをインポートすることで設定内容を読み込み可能です。別アプリにプラグイン設定内容を反映させる場合に利用します。

▼設定のエクスポート

データ移行 ▼

ファイルを選択

データ移行欄右のアイコン「>」→「エクスポート」の順にクリックします。

インポート **エクスポート** 旧バージョンから設定を移行



JSONファイルがエクスポートされます。

▼設定のインポート

データ移行

ファイルを選択 **JSONファイルをアップロードし、「インポート」をクリックします。**

× settings.json

インポート エクスポート 旧バージョン



スプレッドシートとフィールド項目を設定 JSONファイル内の設定内容に上書きされます。

スプレッドシートに一括セット スプレッドシート列クリア 5 ▼ 追加 5 ▼ 削除

出力候補のkintoneフィールド	出力するGoogleスプレッドシート列
フィールドの検索	フィールドの検索
得意先コード (customerCode)	A 得意先コード (customerCode) ⊗ + -
得意先名 (customerName)	B 得意先名 (customerName) ⊗ + -
支社 (branchOffice)	
カナ索引 (kanaIndex)	

【ご注意】

データインポート時、プラグインの設定内容は上書きされます。設定済の内容が存在する場合は、操作にご注意ください。

使用上の注意

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

利用できるkintone のフィールドは以下になります。

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目	出力フィールド
レコード番号	○	×	○
作成者	×	×	○
作成日時	×	×	○
更新者	×	×	○
更新日時	×	×	○
文字列(1行)	△※1	○	○
数値	△※1	×	○
計算	×	×	○
文字列(複数行)	×	×	○
リッチエディター	×	×	×
チェックボックス	×	×	○
ラジオボタン	×	○	○
ドロップダウン	×	○	○
複数選択	×	×	○
ルックアップ (文字列)	×	○	○
ルックアップ (数値)	×	×	○

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目	出力フィールド
添付ファイル	×	×	×
リンク	△※1	×	○
日付	△※1	○	○
時刻	×	×	○
日時	△※1	×	○
ユーザー選択	×	×	○
カテゴリー	×	×	×
ステータス	×	×	×
作業者	×	×	×
テーブル	×	×	×
組織選択	×	×	○
グループ選択	×	×	○
関連レコード一覧	×	×	×
グループ	×	×	×
ラベル	×	×	×
スペース	×	×	×
罫線	×	×	×

※1 レコード番号、もしくは重複不可の設定済のフィールドのみ対応

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■使用環境の制限

環境	対応
モバイル	×
ゲストスペース	×
ゲストユーザー	×
IPアドレス制限環境	×
セキュアアクセスオプション	×

■一括登録に関する注意事項

- ・一覧画面でのレコードの絞り込みは、一括登録の対象データに反映されません。絞り込み適用中も、全レコードを対象に一括登録を実行します。
- ・一括登録を行うと、スプレッドシートに出力済のデータが上書きされます。既にスプレッドシートにデータを出力済の場合は、操作にご注意ください。
※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定有のとき>

- ・出力先スプレッドシート内にグルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。
- ・同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシートのデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。
- ・プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しないためご注意ください。

<グルーピング項目設定無のとき>

- ・出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートのデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■その他の制限

- ・認証に利用したGoogleアカウントが、出力先のスプレッドシートの編集権限を持っていない場合、エラーが生じます。
- ・グルーピング項目やキー項目の変更後にそのままレコード情報を編集すると、プラグインが正しく動作しない可能性があります。グルーピング項目やキー項目の変更後は、一度「一括登録」を行うことを推奨いたします。
- ・Google認証されていない状態でのkintone上での編集内容は、スプレッドシートに反映されません。Google認証後、再度レコードを保存したタイミングで、シートに内容が反映されます。Google認証後、「一括登録」を行い、アプリ内の最新のデータをスプレッドシートに登録することを推奨いたします。
- ・kintoneのファイル読み込み機能を利用したレコード登録・更新は同期処理の**対象外**となります。ファイル読み込みによって登録・編集されたレコードは再度保存したタイミングで、シートに内容が反映されます。
- ・グルーピング項目設定時、プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しません。シートの名称は変更せずにご利用ください。



<製品に関するお問合せはこちらまで>

キャップクラウド株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-5-6 キュープラザ新宿三丁目

担当: Focus U(CI事業) サポート担当

メール: support@focus-u.jp 電話: 03-6824-1007

受付時間: 平日9:30~12:00/13:00~17:30(土日・祝日、当社指定休日を除く)